

## 血液内科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 慢性活動性 EB ウィルス感染症に対する化学療法の実態調査

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 審金 清博

[研究責任者名・所属] 遠藤 知之 (血液内科・講師)

[研究の目的] 血慢性活動性 EB ウィルス感染症（以下 CAEBV と略します）は、EB ウィルスというウィルスが、白血球のひとつであるリンパ球の中で勢いをまし、その結果ウイルスをもつリンパ球自身を活性化させ、増やすことによって様々な症状をひきおこす慢性の病気です。また長い時間を経て感染細胞ががん化し、リンパ腫や白血病になります。これまで各種の抗がん剤による治療法が試みられてきましたが、有効な治療法が定まっていません。大変稀な病気のため報告が少なく、どんな薬物療法がなされどのような効果を示すかを多くの患者さんに対して調査したデータはこれまでませんでした。それが明らかになればより有効な治療の選択や計画に役立つことが期待されます。

### [研究の方法]

#### ○ 対象となる患者さん

2003 年 1 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日までに本院にて CAEBV の診療を行った患者さん。

#### ○ 利用する情報

- ・患者情報: 性別、診断時年齢、治療開始年齢、移植時年齢、生年月日
- ・臨床所見
- ・検査データ: EBV (EB ウィルス) 感染細胞、クローナリティーの有無、化学療法開始時 EBV DNA 量、診断時抗 EBV 抗体価、診断時可溶性 IL-2 受容体
- ・化学療法の種類と効果
- ・移植の有無と種類
- ・転帰

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

\*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目  
北海道大学病院血液内科 担当医師 遠藤 知之  
電話 011-706-7214 FAX 011-706-7823